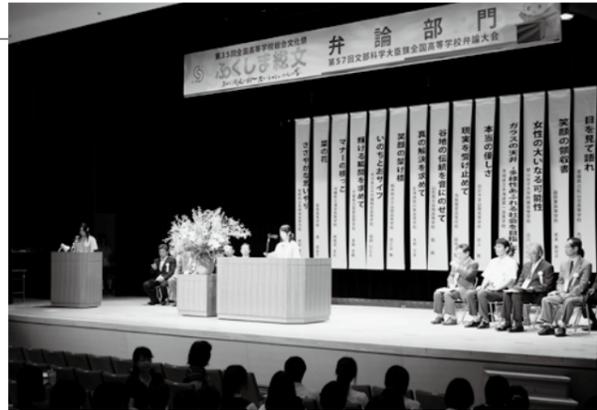


ふくしま総文の弁論部門が開催
ふくしまを元気に！若い力が輝く

8月5日・6日、東文化センター（東釜子）で「第35回全国高校総合文化祭福島大会」の弁論部門が開催されました。全国から出場した57人の高校生弁士が、様々なテーマで熱弁をふるい、大勢の観衆を魅了しました。また、大会の裏方として、白河旭高の生徒64人が、揃いのTシャツで、受付、案内、司会などを務め、大会の運営に貢献しました。

会場を彩った色鮮やかな花は、白河実業高の生徒たちが準備したもので、来場者の心を和ませました。



▲開会式の様子

歴史的風致形成建造物に指定
歴史的まちなみの保全を図ります

本市には、旧城下町らしい景観を形成する上で重要な歴史的建造物が点在しています。市では「歴史まちづくり計画」が2月23日に国認定となったことから、これらの歴史的建造物について、歴史まちづくり法に基づく「歴史的風致形成建造物」に指定し、その保全を図る取り組みを進めています。

第一次指定として「藤屋建造物群」など13件を指定しました。引き続き、歴史的建造物を調査の上順次指定を行い、保全を図っていきます。



▲歴史的風致形成建造物「藤屋建造物群」（二番町）

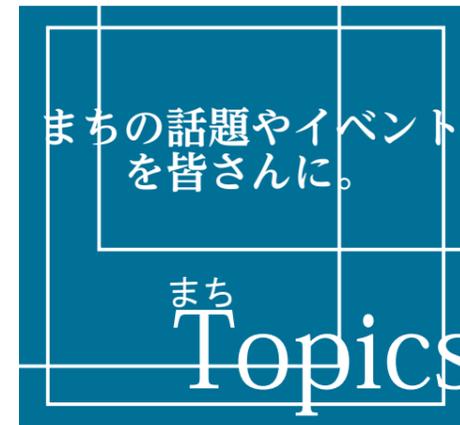
トテチータ・チキチータ制作発表会
白河が主要ロケ地に

8月18日、市立図書館（道場小路）で、映画「トテチータ・チキチータ」の制作発表会が行われ、出演する豊原功補さん、松原智恵子さんらが出席しました。あいさつでは伊達市出身のプロデューサー、古勝たつ子さんが「福島の現状をストーリーに反映させたい。前向きに生きている福島の人々の姿を全国の人に知ってもらいたい」と話しました。

映画は漫画家、故石ノ森章太郎さん原作のファンタジー。撮影は10月に開始、来年3月に公開予定です。



▲出演者（左4人）と鈴木市長



鈴木市長の2期目がスタート
初登庁を多くの市民や職員が出迎える

8月1日、市役所本庁舎正面玄関前で、多くの市民や職員が拍手で迎える中、鈴木和夫市長が2期目の初登庁をしました。職員から花束を受けた鈴木市長は、笑顔で庁舎内に入りました。

引き続き行われた就任式では「東日本大震災や東京電力福島第一原子力発電所事故の対応が急務。特に、放射線により多くの市民が不安を感じている現状を踏まえ、様々な対策を講じること。また、1期目の取り組みをさらに前進させ、市民生活の向上のため全力を尽くすこと」と職員に訓示しました。代表して鈴木憲行副市長が「職員一丸となって市勢の発展のため努力します」と答辞しました。



▲就任式で職員へ訓示

白河関まつりでにぎわうまちなか
踊りに拍手、花火に歓声

「白河関まつり」が8月7日に開催されました。本町、中町、天神町が会場となった歩行者天国では「夏・元気・踊り三昧」が行われ、阿波踊りやよさこい踊り、約10年ぶりに復活した白河関の踊り流しが披露されると、観客からは大きな拍手が送られました。

夜には城山公園（郭内）で「市民納涼花火大会」が行われ、東日本大震災で犠牲になった方への追悼花火も含め、約4,500発の花火が夜空を彩り、詰め掛けた観客から歓声が上がりました。



▲約10年ぶりに復活した白河関の踊り流しの様子